

2025年3月期 第3四半期 決算説明会

ウシオ電機株式会社
2025年2月7日

Copyright © 2025 Ushio Inc., All Rights Reserved

*本資料の記載は、切捨てによる億円単位で表記しております。

*売上高は外部顧客向け。営業利益率は、外部顧客向け売上高に対する比率を記載しております。

未来は光^でおもしろくなる

USHIO

ウシオ電機代表取締役社長の朝日です。

本日はお忙しいところ、弊社「2025年3月期第3四半期決算説明会」にご参加いただき、誠にありがとうございます。

本日ウェブサイトにて開示した資料にもとづき、決算内容をご説明させていただきます。

2024年度 3Q累計実績

- ・ 期初計画を上回るも減収減益
 - 事業の取捨選択による効率化で収益性が改善
 - 半導体市況低迷による投資先送り影響
 - 将来に向けた先行投資拡大
 - 事業ポートフォリオ変革に伴う評価損計上

2024年度 通期業績予想

- ・ 通期業績予想は据え置き
- ・ 年間配当は70円(20円増配)で変更なし

新成長戦略

- ・ 事業ポートフォリオ変革は着実に進捗
- ・ 半導体市況の回復遅延による新成長戦略への影響は精査中

本日、お伝えしたいことは3点です。

1点目は、第3四半期累計実績です。
全社業績は、事業の取捨選択により収益性の改善が進み、期初計画を上回りました。
一方、半導体市況低迷による影響や先行投資の拡大及び事業ポートフォリオ変革に伴う評価損の計上により、減収減益となりました。

2点目の通期業績予想は、前回修正した内容から変更ありません。
第3四半期累計実績では、利益で高い進捗率となっていますが、第4四半期に利益率の低下が見込まれる要因が複数存在するため、予想を据え置く判断をしました。
年間配当は変更なく、期初計画通り20円増配の1株当たり70円とします。

3点目は、新成長戦略です。
半導体市況の回復の遅れによる新成長戦略への影響を現在精査中ですが、事業ポートフォリオ変革における各施策は着実に進展しています。
今後も構造改革を進め、更なる収益性の向上を目指してまいります。

それでは、まずは第3四半期業績についてご説明します。

(スライド4ページへ)

I. 2024年度 3Q業績概要

II. 2024年度 通期業績予想

III. 新成長戦略の進捗

IV. 参考資料 — ①通期業績予想(補足)

②その他

売上高
1,280億円

前年同期比 : 44億円減 (▲3.3%)

- Industrial Process事業 : 半導体市況低迷により減収
- Visual Imaging事業 : 円安効果により増収

営業利益
73億円

前年同期比 : 28億円減 (▲27.5%)

- 事業ポートフォリオ変革に伴う棚卸資産評価損を計上
- 将来に向けた先行投資拡大

親会社株主に帰属する
四半期純利益
57億円

前年同期比 : 29億円減 (▲33.9%)

- 【特別利益】 投資有価証券売却益 0 億円 (2023年度 3Q : 3 億円)
- 【特別損失】 投資有価証券評価損 5 億円 (2023年度 3Q : 0 億円)

第3四半期業績ですが、
売上高は44億円の減収、
営業利益は28億円の減益、
四半期純利益は29億円の減益となりました。

売上高は、半導体市況の低迷による影響で露光装置の販売が減少し減収。
営業利益は、減収に加え、
事業ポートフォリオ変革に伴う棚卸資産評価損の計上や、
将来に向けた先行投資の拡大で減益。
四半期純利益は、投資有価証券評価損の計上などで減益となりました。

続いて、営業利益の増減内容をステップチャートでご説明します。

(スライド6ページへ)

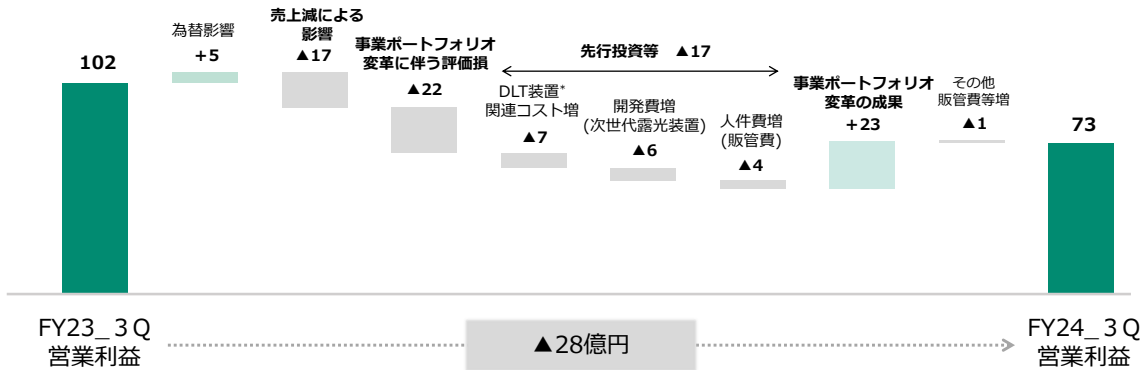
2024年度 3 Q : 財務ハイライト



単位：億円		2023年度 3Q実績	2024年度 3Q実績	前年同期比	
				増減額	増減率
売上高		1,325	1,280	▲44	▲3.3%
営業利益		102	73	▲28	▲27.5%
営業利益率		7.7%	5.8%	▲1.9P	-
経常利益		126	104	▲21	▲17.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益		86	57	▲29	▲33.9%
EPS(円)		76.84	58.22	▲18.62	▲24.2%
為替レート(円)	USD	143	152	+9	-
	EUR	155	165	+10	-

事業ポートフォリオ変革の成果が具現化しつつも、売上減や先行投資等拡大及び評価損計上で減益

単位：億円



* DLT装置：アブライドマテリアルズ社との業務提携によるDLT(デジタルリソグラフィ技術)搭載の露光装置のこと。以降のページ同様

28億円減益の主な要因は、売上減による17億円の減益、事業ポートフォリオ変革に伴う22億円の棚卸資産評価損、将来を見据えた17億円の先行投資拡大です。一方で、事業ポートフォリオ変革の成果が出始めており、23億円の収益性改善に寄与しました。

続いて、セグメント別の業績をご説明します。

(スライド 8 ページへ)

2024年度 3 Q : セグメント別業績



単位：億円		2023年度 3 Q実績	2024年度 3 Q実績	前年同期比	
				増減額	増減率
Industrial Process	売上高	603	546	▲57	▲9.5%
	営業利益 (営業利益率)	80 (13.3%)	71 (13.0%)	▲9 (▲0.3P)	▲11.6% -
Visual Imaging	売上高	592	603	+11	+1.9%
	営業利益 (営業利益率)	45 (7.8%)	14 (2.4%)	▲31 (▲5.3P)	▲68.3% -
Life Science	売上高	40	44	+4	+11.9%
	営業利益 (営業利益率)	▲16 (▲41.7%)	▲7 (▲17.7%)	+8 (+24.0P)	- -
Photonics Solution	売上高	79	76	▲3	▲4.0%
	営業利益 (営業利益率)	▲8 (▲10.7%)	▲3 (▲4.3%)	+5 (+6.3P)	- -
その他	売上高	9	9	+0	+3.4%
	営業利益 (営業利益率)	0 (5.6%)	0 (3.2%)	▲0 (▲2.4P)	▲41.6% -
連結合計	売上高	1,325	1,280	▲44	▲3.3%
	営業利益 (営業利益率)	102 (7.7%)	73 (5.8%)	▲28 (▲1.9P)	▲27.5% -

Copyright © 2025 Ushio Inc., All Rights Reserved

2024年度 3 Q : Industrial Process事業

USHIO

単位：億円	2023年度 3 Q実績	2024年度 3 Q実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	603	546	▲57	▲9.5%
営業利益	80	71	▲9	▲11.6%
営業利益率	13.3%	13.0%	▲0.3P	-
サブセグメント別売上高				
露光用ランプ	105	112	+6	+6.1% ③
OA用ランプ	41	46	+5	+12.0%
光学機器用ランプ	80	84	+3	+4.4%
光源事業合計	227	242	+15	+6.6%
露光装置	238	172	▲66	▲27.7% ①
光学装置その他	137	130	▲6	▲4.5% ②
光学装置事業合計	375	303	▲72	▲19.3%
Industrial Process事業合計	603	546	▲57	▲9.5%

■売上高：前年同期比 57億円減収

- 半導体市況の低迷による投資先送りの影響で装置販売が減少 ①
- EUV関連のメンテナンス収入が減少 ②
- 稼働が堅調及び円安効果により増収 ③

■営業利益：前年同期比 9億円減益

- 露光装置減収の影響及び将来に向けた先行投資拡大
- 案件の絞り込みで販管費を抑制

Copyright © 2025 Ushio Inc., All Rights Reserved

8

インダストリアルプロセス事業です。

売上高は、露光装置の販売減少やEUVのメンテナンス収入減少が影響し、57億円の減収。
営業利益は、露光装置の減収で製品ミックスが悪化したことや先行投資の拡大により、9億円の減益となりました。
一方、EUV事業などで案件の絞り込みを実施し、コストを抑制しました。

2024年度 3 Q : Visual Imaging事業



単位：億円	2023年度 3 Q実績	2024年度 3 Q実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	592	603	+ 11	+ 1.9%
営業利益	45	14	▲31	▲68.3%
営業利益率	7.8%	2.4%	▲5.3P	-
サブセグメント別売上高				
プロジェクター用ランプ	95	83	▲11	▲12.4% ③
照明用ランプ	24	27	+ 2	+ 9.3%
光源事業合計	120	110	▲9	▲7.9%
シネマ	235	244	+ 9	+ 4.0% ②
一般映像	237	248	+ 11	+ 4.8% ①
映像装置事業合計	472	493	+ 20	+ 4.4%
Visual Imaging事業合計	592	603	+ 11	+ 1.9%

■売上高：前年同期比 11億円増収

- 大型案件(前期)が減少も、円安効果で増収 ①
- ハリウッドストライキ影響で販売が減少も、円安効果で増収 ②
- 映画館の稼働低下により販売が減少 ③

■営業利益：前年同期比 31億円減益

- 事業ポートフォリオ変革に伴う棚卸資産評価損を計上
- 販管費(人件費等)が増加

ビジュアルイメージング事業です。

売上高は、前期の大型案件の減少やハリウッドストライキの影響を受け販売台数は減少も、円安効果もあり、11億円の増収。
営業利益は、一時的な棚卸資産評価損の計上や人件費などの販管費増加により、31億円の減益となりました。

Life Science事業

単位：億円	2023年度 3 Q実績	2024年度 3 Q実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	40	44	+ 4	+ 11.9%
営業利益	▲ 16	▲ 7	+ 8	-
営業利益率	▲ 41.7%	▲ 17.7%	+ 24.0P	-

■売上高：前年同期比 4 億円増収

- 植物育成向けナトリウムランプの販売が増加

■営業利益：前年同期比 8 億円増益

- 有望案件に投資を集中しコストを抑制

Photonics Solution事業

単位：億円	2023年度 3 Q実績	2024年度 3 Q実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	79	76	▲ 3	▲ 4.0%
営業利益	▲ 8	▲ 3	+ 5	-
営業利益率	▲ 10.7%	▲ 4.3%	+ 6.3P	-

■売上高：前年同期比 3 億円減収

- 産業用途でモジュールの販売が減少

■営業利益：前年同期比 5 億円増益

- 投資案件の見直しでコストを抑制

Copyright © 2025 Ushio Inc., All Rights Reserved 10

ライフサイエンス事業です。

売上高は、植物育成向けナトリウムランプの販売増加が寄与し、4 億円の増収。
営業利益は、新規事業の精査により、有望案件への投資集中でコストを抑制し、8 億円の増益となりました。

最後に、フォトンクスソリューション事業です。

売上高は、産業用途向けでモジュールの販売が減少した影響により、3 億円の減収。
営業利益は、投資案件の見直しによるコスト抑制を行い、5 億円の増益となりました。

続いて、通期業績予想についてご説明します。

(スライド12ページへ)

I. 2024年度 3Q業績概要

II. 2024年度 通期業績予想

III. 新成長戦略の進捗

IV. 参考資料 — ①通期業績予想(補足)

②その他

前回予想から変更なし

単位：億円	2023年度 実績	2024年度 予想	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	1,794	1,750	▲44	▲2.5%
営業利益	129	75	▲54	▲42.2%
営業利益率	7.2%	4.3%	▲2.9P	-
経常利益	160	95	▲65	▲41.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	107	60	▲47	▲44.4%
EPS(円)	97.22	62.39	▲34.83	▲35.8%
ROE	4.5%	2.7%	▲1.8P	-
年間配当(円)	50	70	+20	-
為替レート(円)*	USD	144	+6	-
	EUR	156	+6	-

* 3Q累計期間為替レート実績：USD：152円、EUR：165円、4Qの為替レート前提：USD：145円、EUR：155円
(参考) 為替感応度：1円変動による影響額(通期)【対USD】売上高：約10.0億円、営業利益：約1.2億円

通期業績予想は、冒頭でも触れた通り、前回予想から変更ありません。

次のページで、第4四半期の見通しについて、セグメント別にご説明します。

2024年度 通期業績予想：セグメント別

USHIO

単位：億円		2024年度 通期予想 (前回から変更なし)	2024年度 3Q実績	通期予想に 対する 3Q進捗率	4Qの見通し
Industrial Process	売上高	800	546	68.3%	- 生産調整による一時コスト発生の見込み - 将来に向けた先行投資が増加の見込み - 露光装置の販売が増加も、低利益案件が含まれる見込み
	営業利益 (営業利益率)	75 (9.4%)	71 (13.0%)	94.7% -	
Visual Imaging	売上高	780	603	77.4%	季節性や案件先送り影響で売上が減少の見込み
	営業利益 (営業利益率)	20 (2.6%)	14 (2.4%)	72.8% -	
Life Science	売上高	55	44	81.7%	投資集中によるコスト抑制を継続
	営業利益 (営業利益率)	▲14 (▲25.5%)	▲7 (▲17.7%)	56.9% -	
Photonics Solution	売上高	100	76	76.2%	投資案件の見直しによるコスト抑制を継続
	営業利益 (営業利益率)	▲6 (▲6.0%)	▲3 (▲4.3%)	55.1% -	
その他	売上高	15	9	65.7%	
	営業利益 (営業利益率)	0 (0.0%)	0 (3.2%)	- -	
連結合計	売上高	1,750	1,280	73.2%	
	営業利益 (営業利益率)	75 (4.3%)	73 (5.8%)	98.6% -	

Copyright © 2025 Ushio Inc., All Rights Reserved 13

各セグメントの通期業績予想についても、前回の修正から変更はありません。

第4四半期の見通しには、
一時的に利益率を押し下げる要因が複数存在しています。

インダストリアルプロセス事業においては、
露光装置の販売が増加するものの、利益率の低い案件が含まれるため、増益幅は限
定的となる見込みです。
また、将来を見据えた先行投資の拡大や、
半導体市況低迷の長期化に伴う関連装置の生産調整影響が、第4四半期の利益率を
押し下げる主な要因となります。

ビジュアルイメージング事業においては、
季節性の影響に加え、中国経済の低迷による案件先送りの影響で、売上の減少が見
込まれます。

続いて、株主還元についてご説明します。

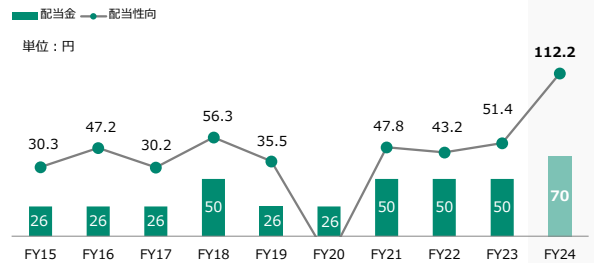
1株当たり
期末配当額

【配当方針】

安定的な配当

FY24～FY26: 下限配当70円/年を設定

2024年度 **70円/年** (増配予定)



自社株投資

【自己株式取得の方針】

機動的に実施

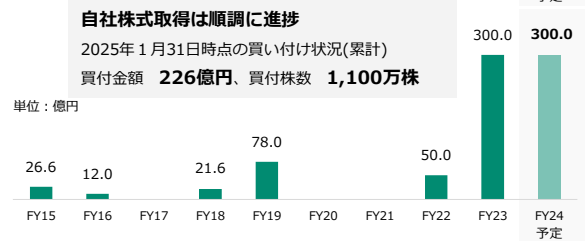
FY24～FY26: 累計500～600億円の自社株投資を実施予定

2024年5月14日リリース

取得期間: 2024年5月24日～ 2025年4月30日

買付予定金額: **300億円(上限)**

買付予定株数: **2,000万株(上限)**



今年度の配当は、新成長戦略の方針に則り、期初計画から変更なく、20円増配の1株当たり70円とする予定です。

自社株投資は、上限300億円の買付に対し、1月31日時点で累計226億円、1,100万株となり、進捗率は約76%です。
詳しくは、2月4日付けのリリースをご確認ください。

続いて、新成長戦略の進捗についてご説明します。
(スライド16ページへ)

I. 2024年度 3Q業績概要

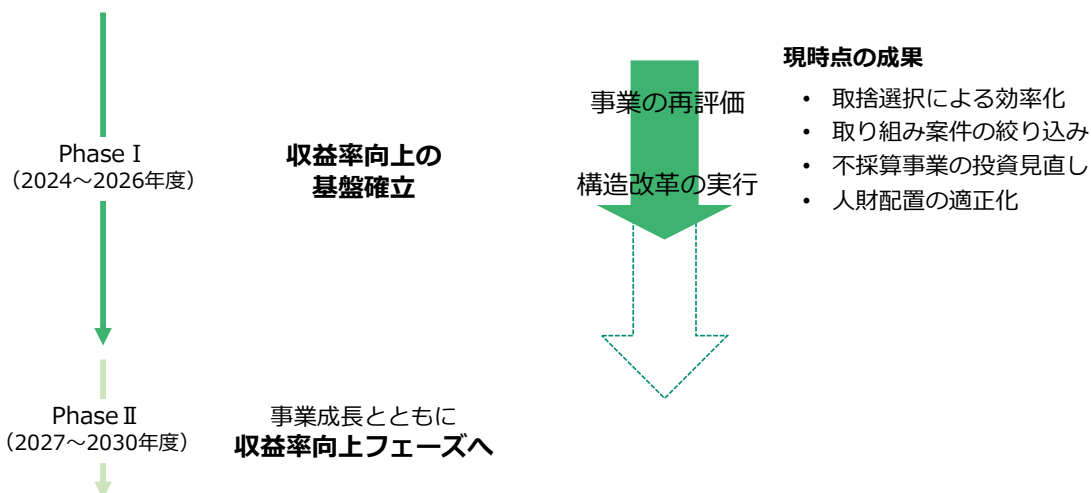
II. 2024年度 通期業績予想

III. 新成長戦略の進捗

IV. 参考資料 — ①通期業績予想(補足)

②その他

Phase I での変革の実行及び完遂を目指し計画通り進展。来期のアクションプラン策定に着手



Copyright © 2025 Ushio Inc., All Rights Reserved 16

新成長戦略の進捗状況です。

まず、事業ポートフォリオ変革については、一部の成果が出始めています。

概ね事業の再評価の目途が立ち、
現在、具体的なアクションプランに着手しています。

ここまでの成果について、この後のページでご説明します。

事業ポートフォリオ変革に伴う「成果」が具現化も、将来の成長を見据えた「一時コスト」発生

	内訳	成果額
成果 + 23億円	・ 事業効率化のための取捨選択	VI事業 + 7億円
	・ 不採算事業の投資見直し	LS・PHS事業 + 6億円
	・ 案件の絞り込みによる効率化	新規事業、EUV事業 等 + 10億円
	内訳	発生コスト
一時コスト ▲ 22億円	・ 財務健全性の強化 将来の収益性向上に向け棚卸資産の評価を 厳格に見直し	VI事業の製品及び保守部品 ▲ 17億円
	・ リソース再配分による資産整理 将来の成長性が見込めない案件を厳格に 評価することで関連する資産を整理	IP・LS・PHS事業 ▲ 5億円

IP = Industrial Process事業 VI = Visual Imaging事業 LS = Life Science事業 PHS = Photonics Solution事業

Copyright © 2025 Ushio Inc., All Rights Reserved 17

今期23億円の利益改善効果があり、その内容は主に3つです。

- 1つ目は、ビジュアルイメージング事業において、適正なコスト構造を目指し、取捨選択を実施したこと。
- 2つ目は、不採算事業において、黒字化を目指した体質改善の一環として、投資の見直しとコスト抑制を徹底したこと。
- 3つ目は、成長性の高い案件に注力するため、各案件を厳格に再評価し、不確実性の高い案件を見直すことで効率化を進めたことです。

一方で、一時的なコストとして22億円を計上しています。

内訳は記載の通りですが、主な要因は、資産の厳格な再評価に伴う評価損です。これらの取り組みは、将来の確実な収益基盤の強化に寄与するものと考えております。

なお、事業ポートフォリオ変革の取り組みは、本年にとどまらず、今後も着実に推進してまいります。これにより、持続的な成長と収益性のさらなる向上を実現していきます。

各施策を着実に実行中。構造改革により更なる収益性改善へ

Industrial Process事業	● 半導体アドバンスドパッケージ向けDLT装置の来期売上計上に向け進展 ● ステッパ及びダイレクトイメージング露光装置の次世代技術に対応した開発を加速 ● EUV事業は市場及び技術動向を精査し一部投資を抑制。成長分野へ人的リソースをシフト ● 半導体市況低迷が長引くことによる中期的見通しへの影響を精査中
Visual Imaging事業	● 競争優位性及び収益性の高いハイエンド領域への集中 ● 収益性向上に向けた構造改革の諸施策を実行中
Life Science事業	● 新規事業案件の再評価で案件の絞り込みを実施し半数以上の案件の収束を決定。継続案件のモニタリングを強化
Photonics Solution事業	● 投資案件の精査を行い開発アイテム及び人的リソースの見直しを実行中。引き続き、収益性改善の取り組み実施

Copyright © 2025 Ushio Inc., All Rights Reserved 18

セグメントごとに進捗状況をご説明します。

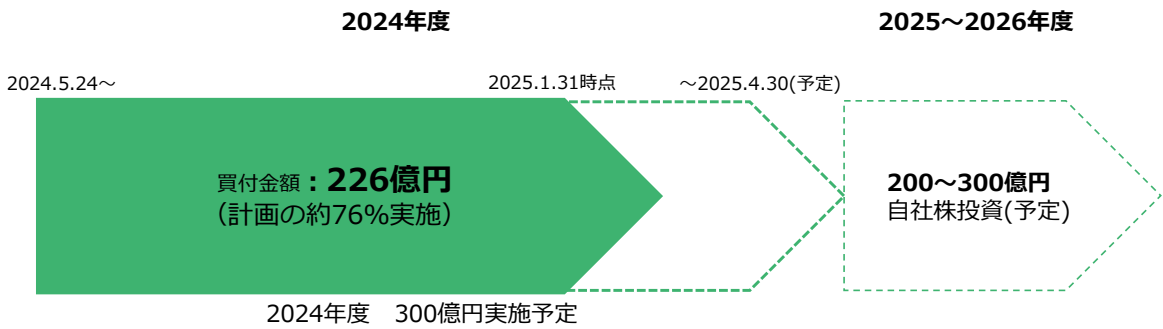
インダストリアルプロセス事業では、半導体アドバンスドパッケージ向けデジタルリソグラフィ装置への、お客様の評価が着実に進んでおり、来期の売上計上に向け生産準備を開始しています。また、ステッパやダイレクトイメージング露光装置も、次世代技術における有望な選択肢として、開発を加速させています。EUV事業については、関連する市場や技術動向を精査した結果、一部の開発案件を見直しました。それに伴い、投資抑制と成長分野へのリソースシフトを進めています。一方、このユニークなEUV光源技術を活かした将来性のある案件もあり、検証を進めています。

ビジュアルイメージング事業では、将来の安定した収益基盤を確立するため、競争優位性が高く収益性が見込めるハイエンド領域への集中を進めています。また、抜本的な収益構造の改善を目指し、具体的な施策を実行しています。

ライフサイエンス事業およびフォトニクスソリューション事業においては、案件や投資の見直しを実施するとともに、その後のモニタリングを強化することで、収益性の改善を進めております。

なお、半導体市況低迷が長期化する見通しを受け、今後の業績への影響を精査しています。一方で、事業ポートフォリオ変革の取り組みは着実に進めており、構造改革を通じて固定費の改善を図り、より筋肉質で強靱な事業体質への転換を進めています。これにより、変化する市場環境に対し柔軟に対応できる基盤を構築してまいります。

新成長戦略で掲げた資本最適化に向け、計画通り自社株投資を実施



Phase I : トータル500～600億円を計画

Copyright © 2025 Ushio Inc., All Rights Reserved 19

次に、財務戦略についてご説明いたします。

新成長戦略で掲げた資本最適化に向け、自社株投資を進めています。

まずは、現在実行中の自社株投資を完遂し、
次の2年間には200～300億円規模の自社株投資を実施する計画です。

これらの取り組みを通じて、資本効率の向上と企業価値の最大化を目指してまいります。

組織人員の最適化により経営効率の改善を図る

● 制度拡充の背景

- ・ 事業ポートフォリオ変革に沿った労働生産性の向上により、筋肉質な体質を目指す
- ・ 社員の多様化する職業観・ライフプランをサポートするとともに、当社の更なる発展に向けた組織人員の最適化を考慮し、現状運用している「セカンドライフ支援制度」について、一定期間、対象者の拡大・優遇措置の拡充を図った特別募集を実施

● 特別募集の概要

対象：一定条件を満たした従業員

募集期間：2025年3月～6月末

優遇措置：特別退職一時金の付与、再就職支援

損益影響：2025年3月期及び2026年3月期決算に計上予定

ご参考：「セカンドライフ支援制度の拡充・特別募集に関するお知らせ」(2025年2月7日付リリース)

Copyright © 2025 Ushio Inc., All Rights Reserved 20

最後に、人財戦略についてご説明します。

この度、組織人員の最適化を通じた経営効率の向上を目的に、セカンドライフ支援制度の拡充を決定いたしました。

本制度の拡充により、労働生産性の向上と筋肉質な事業体質の実現を図り、新成長戦略の達成に向けた取り組みをさらに加速させてまいります。

制度の詳しい内容は、本日リリースした「セカンドライフ支援制度の拡充・特別募集に関するお知らせ」をご覧ください。

以上、新成長戦略で掲げた事業ポートフォリオ変革は、私たち経営陣の強いコミットメントのもと、やり遂げる所存です。
全社一丸となり、将来を見据えた収益構造の改善を実現し、持続的な成長と企業価値の向上を目指してまいります。

本日の私からの説明は以上となります。

I. 2024年度 3Q業績概要

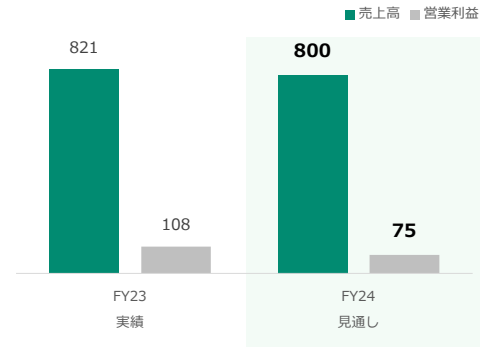
II. 2024年度 通期業績予想

III. 新成長戦略の進捗

IV. 参考資料 — ①通期業績予想(補足)

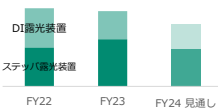
②その他

前回より変更なし

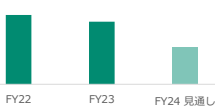


【参考情報（売上高推移）】

半導体アドバンスパッケージ向け
露光装置



EUVリソグラフィマスク検査用
EUV光源



■事業環境想定

生成AI関連は市場成長も、半導体市場(全般)の需要回復は不透明

- 半導体市場(全般)の回復は、更に遅れる見込み
- 生成AI関連の半導体アドバンスパッケージ市場は成長
- FPD市場は、需要の底は脱するも低調な需要の継続を見込む

■売上高：前年同期比 21億円減収

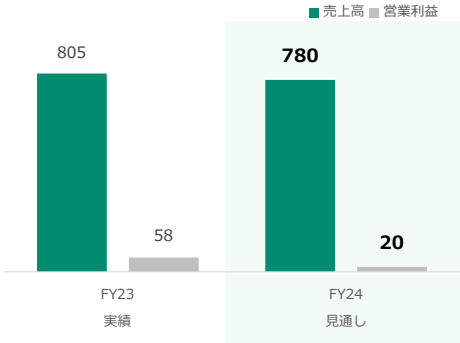
- 露光用ランプは、徐々に稼働が回復し増収を見込む
- 露光装置は、投資先送りの影響で減収を見込む
- EUVマスク検査用光源は、メンテナンス収入の減少を見込む

■営業利益：前年同期比 33億円減益

- 将来の成長に必要な先行投資(開発投資)を拡大
→ デジタルリソグラフィ装置*を含む次世代露光装置、EUV光源等
- 露光装置で一時的な生産高の減少に伴う稼働率低下による損失を見込む
一方で、事業の取捨選択による効率化で収益性は改善を見込む

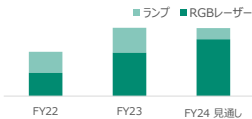
*アプライドマテリアルズ社との業務提携によるDLT(デジタルリソグラフィ技術)搭載のDI露光装置のこと

前回より変更なし

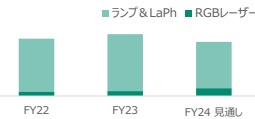


【参考情報（台数推移）】

デジタルシネマプロジェクター(DCP)



一般映像向けプロジェクター



■事業環境想定

需要は堅調も、中国経済やストライキ影響を注視

シネマ市場

- ハリウッドストライキの影響で映画館の一時的な稼働減を想定
- DCP置き換えニーズはあるものの、投資意欲は低調な見込み

一般映像市場

- 大規模演出や最先端の映像演出ニーズの高まりにより需要は堅調も、中国経済の影響は注視

■売上高：前年同期比 25億円減収

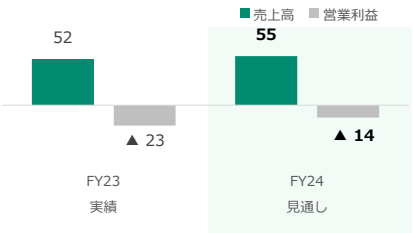
- シネマ(映像装置)は、設備投資意欲の減退により減収を見込む
- 一般映像機器は、堅調な需要により増収を見込む
- プロジェクター用ランプは、映画館の稼働減少影響や固体光源化で減収を見込む

■営業利益：前年同期比 38億円減益

- 減収に伴う減益
- プロジェクター用ランプで原材料高による影響を見込む
- 事業ポートフォリオ変革に伴う評価損を計上

前回より変更なし

Life Science事業



■事業環境想定

メディカル機器等で安定的な需要が継続

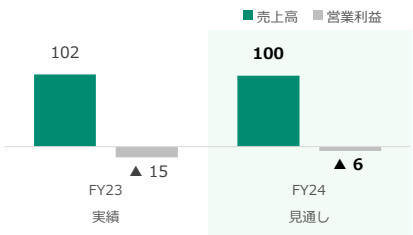
■売上高 : 前年同期比 2 億円増収

- 環境衛生向け及びメディカル機器は横ばい。ナトリウムランプの販売増加を見込む

■営業利益 : 前年同期比 9 億円増益

- 増収に加え、事業の取捨選択による効率化で収益性改善を見込む

Photonics Solution事業



■事業環境想定

産業用途でエネルギー効率向上ニーズ等によるフォトニクス需要が継続

■売上高 : 前年同期比 2 億円減収

- 半導体関連で増加も、その他用途で販売減少を見込む

■営業利益 : 前年同期比 9 億円増益

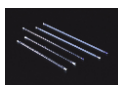
- 事業の取捨選択による効率化で収益性改善を見込む

- I. 2024年度 3Q業績概要
- II. 2024年度 通期業績予想
- III. 新成長戦略の進捗
- IV. 参考資料 — ①通期業績予想(補足)

②その他

事業セグメントと主な製品

USHIO

事業セグメント	主要事業・製品	製品例					
Industrial Process	光源： 露光用ランプ、OA用ランプ、光学機器用ランプ他 装置： 露光装置、キュア装置、EUVマスク検査用光源、保守メンテナンスサービス他	 露光用ランプ	 OA用ランプ	 ステッパ露光装置	 ダイレクトイメージング露光装置	 EUVマスク検査用EUV光源 (提供：TNO)	
Visual Imaging	光源： シネマ用ランプ、データプロジェクター用ランプ他 装置： デジタルシネマプロジェクター、一般映像向けプロジェクター、映像関連機器、保守メンテナンスサービス他	 シネマ用ランプ	 データプロジェクター用ランプ	 デジタルシネマプロジェクター	 一般映像用プロジェクター	 ディスプレイLEDウォール	 映像周辺機器
Life Science	光源：「Care222®」搭載製品 装置：紫外線治療機器他	 抗ウイルス・除菌技術「Care222®」搭載製品	 紫外線治療機器「セラビームシリーズ」				
Photonics Solution	光源：固体光源	 固体光源（LD/LED）	 レーザーモジュール				

四半期推移《損益》

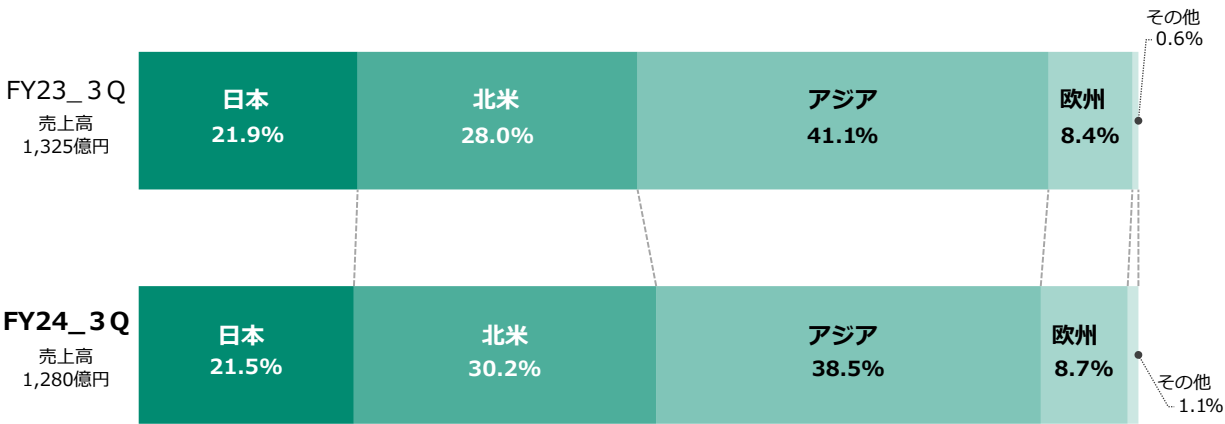
単位：億円		2023年度				2024年度			前年同期比	
		1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	増減額	増減率
売上高		392	457	475	469	375	481	424	▲50	▲10.6%
営業利益		20	29	52	27	3	39	31	▲21	▲40.3%
営業利益率		5.2%	6.4%	11.0%	5.9%	0.9%	8.2%	7.4%	▲3.7P	-
経常利益		28	34	63	34	14	39	50	▲13	▲20.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益		17	24	44	20	2	20	34	▲9	▲22.3%
EPS(円)		15.36	21.65	40.72	20.06	2.92	20.26	36.07	▲4.65	▲11.4%
為替レート (円)	USD	136	144	149	147	155	153	149	+0	-
	EUR	148	158	159	160	167	166	162	+2	-

四半期推移《セグメント別損益》

		2023年度				2024年度			前年同期比	
		1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	増減額	増減率
単位：億円										
Industrial Process	売上高	174	203	225	217	155	220	170	▲55	▲24.5%
	営業利益	22	17	40	28	10	41	18	▲22	▲54.5%
	営業利益率	12.9%	8.4%	18.1%	13.1%	6.7%	19.1%	10.9%	▲7.2P	-
Visual Imaging	売上高	176	212	203	212	175	216	211	+7	+3.5%
	営業利益	6	23	15	12	▲4	3	15	▲0	▲1.1%
	営業利益率	3.5%	11.2%	7.8%	6.1%	▲2.7%	1.6%	7.5%	▲0.3P	-
Life Science	売上高	13	13	13	11	15	15	14	+1	+8.8%
	営業利益	▲4	▲7	▲4	▲6	▲1	▲3	▲2	+2	-
	営業利益率	▲32.7%	▲57.1%	▲36.1%	▲54.6%	▲11.1%	▲25.4%	▲16.7%	+19.4P	-
Photonics Solution	売上高	25	25	28	23	25	25	24	▲3	▲13.0%
	営業利益	▲3	▲3	▲1	▲6	▲0	▲2	▲0	+0	-
	営業利益率	▲12.9%	▲14.9%	▲5.0%	▲28.9%	▲2.3%	▲8.6%	▲2.0%	+3.0P	-
その他	売上高	2	3	3	3	2	3	3	+0	+7.1%
	営業利益	▲0	▲0	1	0	0	0	▲0	▲1	-
	営業利益率	▲22.9%	▲16.7%	51.7%	23.5%	1.1%	8.8%	▲0.6%	▲52.3P	-
連結合計	売上高	392	457	475	469	375	481	424	▲50	▲10.6%
	営業利益	20	29	52	27	3	39	31	▲21	▲40.3%
	営業利益率	5.2%	6.4%	11.0%	5.9%	0.9%	8.2%	7.4%	▲3.7P	-

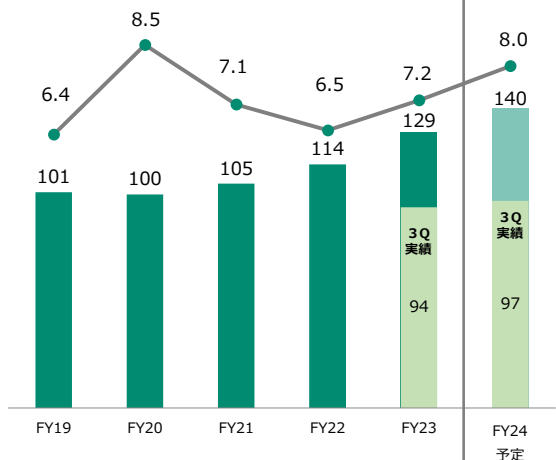
地域別売上高比率

USHIO

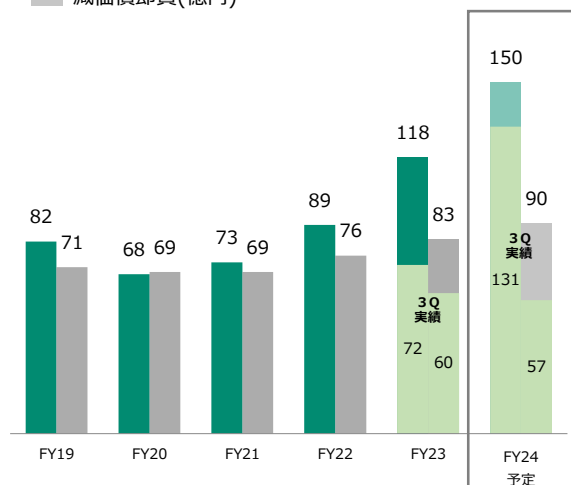


研究開発費／設備投資額・減価償却費

■ 研究開発費(億円)
— 売上高研究開発費率(%)

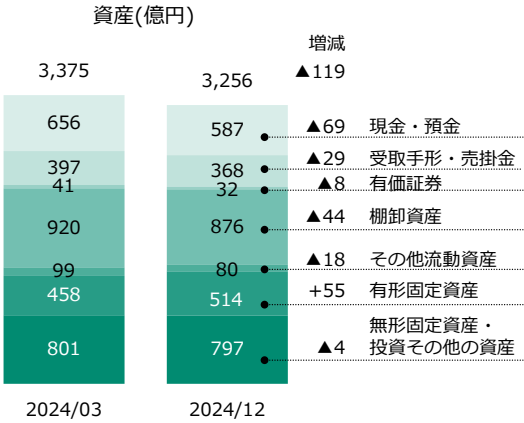


■ 設備投資額(億円)
■ 減価償却費(億円)

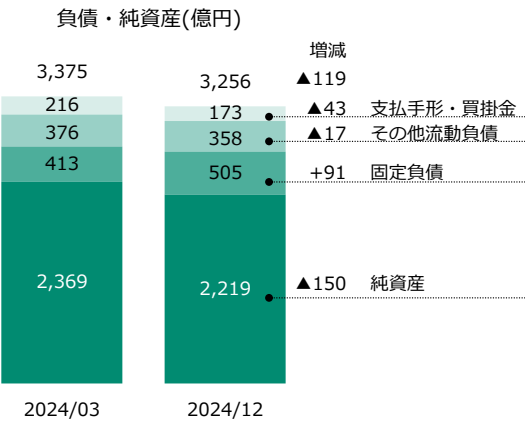


Copyright © 2025 Ushio Inc., All Rights Reserved 30

貸借対照表



回転月数(ヶ月)	2024/03	2024/12
売上債権	2.6	2.7
棚卸資産	5.9	6.3
CCC	6.9	7.6

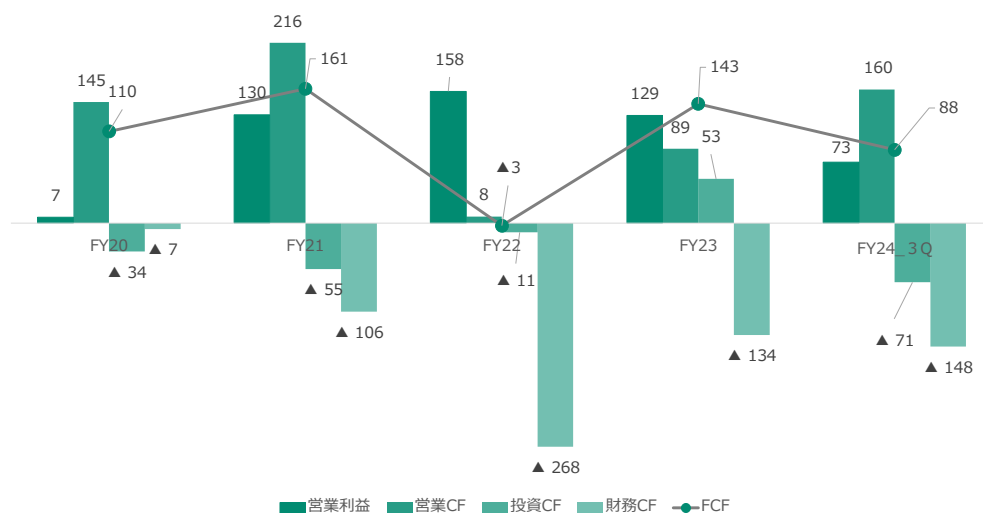


自己資本比率(%)	2024/03	2024/12
	70.2	68.2

キャッシュフロー推移

USHIO

単位：億円



Copyright © 2025 Ushio Inc., All Rights Reserved 32

AI	Artificial Intelligence	人工知能
DCP	Digital Cinema Projector	デジタル・シネマ・プロジェクター
DI	Direct Imaging	マスクを使わず、直接描画する露光方式
DLT	Digital Lithography Technology	デジタルリソグラフィ技術
EUV	Extreme Ultraviolet Radiation	極端紫外放射（極紫外放射）
FPD	Flat Panel Display	フラット・パネル・ディスプレイ
OA	Office Automation	オフィス内の事務作業の自動化や効率化を図ること
半導体アドバンスドパッケージ		チップレットをはじめとする半導体の2xD、3D化に対応する最先端のパッケージ分野

IRサイト及びIRメール配信サービスのお知らせ

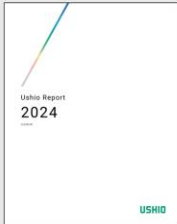
- ・ 当社オフィシャルWebサイト「投資家情報」では、様々なIR情報を掲載しております。
- ・ 法定開示や適時開示、その他IR情報等、ウシオのIRニュースを開示後適時にメールでお届けできるように **IRメール配信サービス**を導入しております。IRサイトからご登録いただきますようお願いいたします。

🖥️ オフィシャルWebサイトもご活用ください



投資家情報





統合報告書(Ushio Report 2024)





「大和インターネットIR表彰 2024」
「優秀賞」受賞



「2024 日興アイ・アール 総合部門 最優秀サイト」選定

IRメール配信サービス
ご登録はこちら




<免責事項>

本資料で記述されている将来の当社業績に関する見通しは、現時点で入手可能な情報を基に当社が判断した予想です。従いまして、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

＜本資料に関するお問い合わせ先＞

ウシオ電機株式会社

IR室

(03) 5657-1007

ir@ushio.co.jp

<http://www.ushio.co.jp/jp/ir>